



陽 心

教育目標 自主 健康 奉仕

栃木市立東陽中学校

学校だより

文責：竹田昌彦

東陽中学校区の小中学校では、毎月の14日を「トーヨーの日」として、『家族団らんの日』を推進しています。5月は14日(日)です。

ブラスバンド部による中庭演奏



新入生を歓迎する演奏会が4月27日(木)の
昼休みに校舎中庭でブラスバンド部員2, 3年生によって開
催されました。中庭を取り巻く校舎の窓からたくさんの生徒
が見守る中、3曲披露されました。参観した生徒は、手拍子
や体でリズムを取りながら、楽しそうに聴き入っていました。
青空の下、1年生を歓迎する温かい雰囲気を感じられました。

アシストネットを活用した家庭科授業

4月27日(木)に家庭科室で2年生が8名のミシンボランテ
ィアの方々にミシンの使い方等を教えていただきました。授
業では、コンパクトエコバッグの制作を1学期中に完成させ
るために、ミシンを使って袋縫いの練習をしました。慣れない
手つきで作業をする生徒に対して、ボランティアの方々が
一人一人丁寧に声をかけてくださいました。ボランティアの皆様ありがとうございました。



学校課題研究における授業実践



学校課題研究の授業実践として、4月28日(金)の4校時に3
年1, 2組の保健体育科で授業を行いました。研究主題『「主
体的・対話的で深い学びに導く授業の創造」～「学業指導」の
充実と「とち介の学び」の実践』の実現に向けて、体づくり運
動・集団行動で「活動の工夫」と「振り返り」を重点に指導し
ました。生徒は全体的に元気が良く、積極的に取り組む姿勢が見られました。グループや
自己の能力に適した課題を目指して、仲間と協力して取り組んでいました。

第1回校内避難訓練

非常事態の発生を想定し、日頃から災害に対する心構え
を持ち、人命尊重を基本とする意識の高揚を図ること等を
目的として、4月28日(金)に今年度初めての避難訓練
を実施しました。全体の避難が3分台で完了し、生徒全員
が目的を持って迅速に避難することができました。命を守るために大事なこととして、安
全な場所にいかに早く逃げるかについて、生徒と真剣に考える機会となりました。



第1回生徒会総会

第1回の生徒会総会が5月1日(月)の6校時にZoomによる放送で行われました。生徒会活動スローガン「輝け陽心若あゆ運動」のもと、生徒会年間テーマ「さあ今だ 描け夢を広げる翼を～完全復活東陽中～」を掲げて、生徒による自治の取り組みがスタートしました。



校長のあいさつでは、地域の宝としての学校を皆さんの手でより良いものにしてほしい。そのために一人一人ができることは何か。目標を持って生活してほしいという話をしました。総会では、生徒会本部、各専門委員会、町内別生徒会、部活動会から今年度の目標と年間活動計画等の発表があり、生徒一人一人が自分たちの手で創り上げる学校のイメージを持つことができたようです。

指導集会（学習）

5月2日(火)の6時間目終了後からの時間を使って、学習に関する指導集会がオンラインで行われました。生徒は各教室の大型TVで集会に参加しました。集会では、学習することの意味を考え、これからの学習活動に前向きに取り組むことができるようにするための心構えや授業や定期テストの受け方等の具体的な話を聞きました。最後に「学問に王道なし！」の言葉を聞き、学校のスローガンである「凡事徹底」「積小為大」を学習に当てはめて、じっくり考えることができました。



新体力テスト

5月9日(火)に新体力テストが実施されました。自己の体力や運動能力を認識することで今後の健康作りに役立てることを目的として20メートルシャトルランを除く7種目にチャレンジしました。生徒は昨年度の記録を更新できるよう真剣に参加することができました。今回の記録を体力づくりや部活動の競技力向上等に生かしてほしいと思います。



5類感染症への移行後の学校における新型コロナウイルス感染症対策について

5月8日(月)付けで、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律上の5類感染症に移行しました。今後学校における新型コロナウイルス感染症対策の考え方については、文部科学省が「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」を改訂しましたので、これに準じて次のとおり感染症対策を行います。

- 家庭との連携による生徒の健康状態の把握（※健康観察カードの提出は必要なし）
- 適切な換気の確保
- 手洗い等の手指衛生や咳エチケットの指導
- マスクの着用については原則求めない

